



## 若者 × 情熱

ミハラのチカラ

STORY 21

### 風を読み 大海原を駆け抜ける

総合技術高等学校1年

たかもりれいや  
高森侗也さん

総合技術高等学校1年の高森侗也さんが10月に愛媛県で開催された第72回国民体育大会(国体)のセーリング競技に広島県代表として出場しました。

セーリング競技とは帆に受けた風の力だけでヨットを進め、その速さや技術を競うスポーツです。



全長4.2mのヨットにパートナーと乗り込み、息の合った操縦で海上を滑走します。

舵取りを行うスキッパーと、帆の調整を担うクルーの2人でヨットを操縦します。

高森さんがセーリングを始めたのは小学3年生のとき。

元選手だった祖父の影響でした。最初は「風や波でヨットのバランスが保てず怖かった」そうですが、「風をつかんで加速したときの爽快感に魅了され、次第に夢中になった」と話します。

ヨットに乗るのは週に2日。練習拠点の瀬戸内海の弱い風に慣れている高森さんは、「風の強い日のスタートが苦手。その日がうまくいったからといって、次の状況ではどうなるかわからない」とレース経験を積むため、全国各地の大会に参加しています。大会では通常、数日に分け



て複数回レースを行います。ですが、風や波の状態によっては1日で全てのレースを行なったり、大会当日にコースが変更になったりするすることも。「ヨットに乗ったままスタート地点で待機になるときなど、モチベーションを保ち続けるのが大変」と苦労を話します。

※このコーナーでは、スポーツや文化・芸術活動などに情熱を注ぐ若者や子どもたちを紹介します。

## かがり灯

たかすぎみき  
撮影者 高杉美紀さん

撮影エピソード

浮城まつりの最終日、三原城跡のお堀にかがり火がともされ、水面に幻想的な炎が揺らめいていました。



●撮影年月 平成29年11月  
●撮影場所 三原城跡歴史公園

## 写真・絵を募集しています

### テーマ

～あなたが残したい三原の風景～

**応募資格** 市内在住・在勤・在学の人

**選考** 総務広報課で選考

※応募作品の著作権は市に帰属し、市の公式フェイスブックで紹介させていただく場合があります。

※応募作品は返却しません。

**申し込み** 郵送またはEメールで写真(L判・データ)か絵(大きさは画用紙A3サイズまで)と①名前②住所③電話番号④撮影・制作日⑤撮影・題材場所⑥作品名⑦作品エピソード(70字以内)を総務広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848-67-6007 ㊚somukoho@city.mihara.hiroshima.jp)へ